

「寺子屋・四字成語」雑感-19 一諾千金（一諾千金）

中国で見つけた“有名小学校入学準備の為の”絵本から 文と訳・有為楠 君代

今日は、史記・季布伝に出て来る、「一諾千金」、「一度交した約束は、千金の重みがあり、必ず守らなければならない」という意味の言葉です。私には、あまり馴染みのない言葉だったので、初めは、「一攫千金」と見間違えてしまいました。

・>・>・>・>・>・>・

秦朝の末期、楚の項羽の配下で活躍する季布と言う軍人がいました。他人のために正義を貫き、信用を重んじると評判で、人々は彼を敬愛していました。

季布は何回も軍隊を率いて劉邦軍を破りました。項羽が破れ、漢王朝が成立してから、劉邦は季布を捕まえるよう命令を出しましたが、人々は、季布が義に厚いのを知っていて、また季布に恩義を感じる人が多かったため、誰も季布を裏切ってその居所を教える人はいませんでした。暫くして、劉邦に季布の命乞いをする人があって、劉邦は季布を許し、その評判を聞いて季布を召し抱え、官職を与えたのでした。

曹邱生と言う人がいて、季布が一夜のうちにお尋ね者から重臣になったと聞き、大変珍しいことだと感じて、友達になりたいと思いました。曹邱生は季布に言いました：「私は、楚の国の人達が『季布に承知して貰えば安心で、たくさんのお金を貰うより有難いことだ』と話しているのをよく聞きました。それで、是非あなたとお近づきになりたいと思いました」と言うと、季布は大変喜んで丁寧にもてなしました。

曹邱生は諸国を旅して歩きましたが、行く先々で季布がいかにか義を重んじ、人材を大切に育てて話を話して歩きました。それで、季布の「一諾千金」の名声は全国に広まったのです

・>・>・>・>・>・>・

言葉の意味：季布の承諾の一言は千金に値する。日常

で、考えなしに同意してはいけない、の意味。約束の確かな喩え。承諾の信用度が高いことを言う言葉。

使い方：彼は一諾千金の人だから、絶対約束を破るようなことはない。

・>・>・>・>・>・>・

子供向けの本ですから、上記のように纏めてありますが、史記によると、曹邱生と言う人は、劉邦が中国全土を統一する前の戦国時代に活躍した

諸子百家と言われ、様々な技能や弁舌で、

諸国の君主に取りいって生活していた人の名残りで、各地の有力者と知己を結び、渡り歩いて生活をしていました。史記では弁士と言っています。

季布はこの種の人間が嫌いで、紹介状を持って訪ねて来た曹邱生を余り快く思いませんでした。紹介者の顔を立てて、仕方なく会ってみると、曹邱生は、「私はあなたと同じ楚の人間です。楚の人々があなたを敬愛しているのを知っていますので、是非お目に掛かりたかったのです。これから私は、行く先々で、楚の人々が『あなたとの約束は、千金の重みを持つ』と

思っている話を広めましょう」と話したので、嬉しくなり曹邱生を懇ろにもてなしました。

この後も曹邱生は、つてを求めて国中の有力者を訪ね、巡り歩いておりました。滞在する先々で「一諾千金」或いは「季布一諾」の話をし、季布がいかにか義理を重んじ、約束を大事にしているかを話し伝えたので、国中の人々が知る所となりました。

そのおかげで、史記編纂の資料を集めていた司馬遷の耳に入り、列伝巻 100 で取り上げられて、三千年を経た現代のわれわれがこの言葉とそれにまつわるお話をすることが出来るのです。

現代は「何でも PR が全ての世の中」と言われますが、現代に限らず、いつの時代でも PR は大事だと思われ知られます。古代中国でもこのような状態なのですから。



満
柏



挿絵 満柏氏